保存版
令和５年５月

豊橋市

洪水ハザードマップ

Mapa de Risco de Inundação
Mapa ng Panganib dulot ng Baha
Flood Hazard Map

豊川流域

Bacia do Rio Toyogawa
Toyo River Basin
Toyo River Basin

わが家の防災メモ

台風や豪雨時に慌てずに避難をするためには、日頃から周囲の災害リスクを把握し、いつ、どのような避難行動を取るべきか、事前に考えておくことが大切です。ハザードマップを使って、わが家の防災メモを完成させましょう！ 地図を確認して、該当するところにチェックを記入しましょう。

自然の災害リスク

浸水深	□浸水なし □0～0.3m未満 □0.3～0.5m未満 □0.5～1.0m未満 □1.0～3.0m未満 □3.0～5.0m未満 □5.0～10.0m未満 □10.0m以上
家屋倒壊等氾濫想定区域	□氾濫流の想定区域内 □河岸侵食の想定区域内 □家屋倒壊等氾濫想定区域外

避難の方法 このハザードマップを参考にして避難の方法を確認しましょう。

□屋内待機又は垂直避難（　　階に避難） □立退き避難

立退き避難先

□市の避難所（　　） □知人・親戚の家（　　さん宅）

避難場所 自宅から避難場所までの経路を実際に歩いて確認しましょう。

避難場所		自宅から避難場所までの時間	

【メモ】非常時の持ち出し品などについて、記入しておきましょう。

●家族が離ればなれになった時の集合場所や連絡方法（災害伝言ダイヤルや各種SNSなど）

●家族の連絡先

家族の名前	連絡先（学校や勤務先など）	電話番号

令和５年５月発行　豊橋市 建設部 河川課　〒440-8501　愛知県豊橋市今橋町１番地(豊橋市役所東館6階)
電話番号：0532-51-2535　E-mail : kasen@city.toyohashi.lg.jp

非常時に必要なもの

非常時持ち出し品チェックリスト

貴重品	□現金(小銭) □印鑑 □預金通帳 □健康保険証 □運転免許証 □権利証書 □マイナンバーカード □本人・家族の写真(最新のもの)
食料品・水	□家族３日分の食料及び飲料水
医療・衛生用品	□救急薬品 □常備薬 □処方箋のコピー □お薬手帳 □衛生用品(歯磨き用具等) □生理用品 □ティッシュ □ウエットティッシュ □除菌アルコール □体温計 □マスク
避難用品	□ヘルメット・防災ずきん □運動靴 □ホイッスル(呼子笛)
道具箱	□携帯電話・モバイルバッテリー及び充電器 □ラジオ兼ライト(予備電池) □筆記用具(油性ペン含む) □作業用手袋(革手袋) □ナイフ □缶切り □マッチ □ライター
衣類	□上着(防寒着) □下着類 □タオル □雨具（レインコート）
生活用品	□毛布・寝袋・簡易ブランケット □使い捨てコンタクトレンズもしくはコンタクトレンズ洗浄液 □予備メガネ □スリッパ

家族に合わせた準備をしましょう

▼高齢者がいる家族	▼乳幼児がいる家族	▼妊婦がいる家族
□ 食料品類(ゼリードリンクなど)	□ ミルク・哺乳瓶・離乳食等	□ 脱脂綿
□ おむつ・紙パンツ等	□ おむつ・おしり拭き	□ ガーゼ
□ 装具の予備(杖など)	□ ベビーソープ	□ 新生児用品
□ 持病等の薬	□ おんぶひも・おもちゃ	□ 消毒用アルコール
□ 口腔ケア用品・入れ歯洗浄剤	□ ガーゼ・さらし	□ 母子健康手帳
□ 身近な人の連絡先	□ 食品アレルギーリスト	□ 清潔なタオル等
□ 自身の身元を記入したもの	□ 母子健康手帳・子ども医療費受給者証	□ マタニティマーク

非常持ち出し品は最小限にして、リュックサックに手ぶらでまとめましょう。
避難のときに両手が自由に使えるようにすることが大切です。

ローリングストック（循環備蓄）とは、食料・飲料水などを保存期限が切れる前に消費し、新たに補充して、常に一定量のストックがある状態を保つことです。
定期的に古い備蓄から消費することで、無駄を出さず、いざという時に期限切れで使えなくなることを防ぎます。

各施設電話番号

いざという時の連絡先	
消防(火災・救急・救助)	119
警察(緊急)	110
豊橋市災害対策本部(設置時)	(0532) 51－2055

主な関係施設の連絡先	
豊橋市役所(夜間・休日)	(0532) 51－2421
豊橋市民病院	(0532) 33－6111
豊橋医療センター	(0532) 62－0301

災害伝言ダイヤル「１７１」の利用

地震等の災害発生時に、被災地の方の安否を気遣う通話が増加し、被災地への通話がつながりにくい状況になった場合に、NTTが提供するサービスです。

安否など連絡に便利な
災害用伝言ダイヤル 171 を知っておきましょう
「171」をダイヤルし、利用ガイダンスに従って伝言の録音・再生をしてください。

伝言の録音方法
171 ▼ガイダンスが流れます
録音の場合 1 ▼ガイダンスが流れます

伝言の再生方法
171 ▼ガイダンスが流れます
再生の場合 2 ▼ガイダンスが流れます

被災地の方も被災地以外の方も
被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。
(ＸＸＸＸ) ＸＸ－ＸＸＸＸ ▼ガイダンスが流れます
録音(30秒以内)
(ＸＸＸＸ) ＸＸ－ＸＸＸＸ ▼ガイダンスが流れます
再生

毎月1日、15日、防災週間(8月30日～9月5日)、防災とボランティア週間(1月15日～1月21日)、正月三が日(1月1日～1月3日)に体験利用できます。

洪水ハザードマップとは

洪水ハザードマップの役割

洪水ハザードマップとは、大雨によって河川が増水・氾濫した場合の浸水範囲と浸水深さ及び各地区の避難場所を示したものです。

この洪水ハザードマップを利用して、あなたが住んでいる地区がどれだけ浸水するのか、そのときにどこへ避難するべきなのかを把握しておきましょう。また、自宅の近くにがけ崩れや大雨によって災害の発生が予想される場所がある人は、自主的に早めの避難を心がけましょう。

また、洪水により大きな災害の発生が予想される場合は、市からも避難情報などが出されますので、速やかに避難しましょう。

●豊橋市の主な過去の水害記録

●豊橋市の主な過去の水害被害状況

1959年　伊勢湾台風

伊勢湾台風は愛知県を中心に猛威を振るい、5,089 人の尊い人命が失われました。豊橋市でも堤防決壊による洪水、暴風による家屋倒壊など甚大な被害をもたらしました。

■ 豊橋市の被害概要

死傷者	130人
家屋倒壊	2,135戸
床上浸水	157戸
床下浸水	288戸

伊勢湾台風による被害の様子

2008年　平成20年8月末豪雨

平成 20 年 8 月末豪雨は、三河地方を中心に局地的な降雨をもたらしました。豊橋市では、28 日の日中から 29 日にかけて、総雨量 233.5ミリを観測しました。柳生川や内張川が氾濫し、193 ヶ所の道路が冠水するなど大きな被害を受けました。

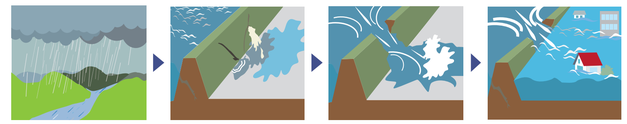
■ 豊橋市の被害概要

軽傷	1人
半壊	1戸
床上浸水	126戸
床下浸水	214戸

平成２０年８月末豪雨による浸水の様子

洪水発生のメカニズム

洪水は大雨により川が増水し堤防が決壊したり、川の水が堤防を越えるなどにより発生します。浸水してくると水かさがすぐに高くなり、歩行が困難になるため、早めの避難を心がけましょう。



大雨によって川の水の量が増え、水かさが上がり始めます。

堤防いっぱいまで水が増えると、土でできた堤防に水圧がかかり始めます。

水が増え、水の力に堤防が耐えられなくなり、堤防の一部が崩れ始めます。

水は堤防の崩れた場所から、勢いよく流れ出して、家などに襲いかかります。

情報を入手しよう

防災・災害情報を調べる（PULL型）

1 豊橋市ＳＮＳ・ホームページ

● 豊橋市 ホームページ（防災・災害情報）
https://www.city.toyohashi.lg.jp/6607.htm
洪水・土砂災害等各種ハザードマップが確認できます。
● 豊橋市 防災・安全・安心 情報ツイッター
https://twitter.com/city_toyohashi

ホームページ　ツイッター

2 スマートフォンアプリ

● 防災アプリ　Hazardon（ハザードン）
https://www.city.toyohashi.lg.jp/48084.htm
● Yahoo！防災速報
https://emg.yahoo.co.jp/

【Hazardon】 iPhone/iPad　Android
【Yahoo!防災速報】 iPhone/iPad　Android

3 官公庁による配信情報

●気象庁
発令中の警報や、雨雲情報等の様々な防災情報が確認できます。
https://www.jma.go.jp/jma/

● 国土交通省 川の防災情報
河川水位やカメラ、雨量等の防災情報を確認できます。
https://www.river.go.jp/index

●愛知県 川の防災情報
県管理河川の水位や雨量の情報を確認できます。
https://www.kasen-aichi.jp/

● 愛知県防災Web
県内市町村が発表する避難に関する情報等の災害情報を確認できます。
http://www-bousai1.koudoka.pref.aichi.jp/pub_web/portal-top/

防災・災害情報を受け取る（PUSH型）

1 メール配信

● 豊橋ほっとメール
「tou@anzen-ansin.net」か、右記の２次元コードから空メールを送り登録することで、無料で防災・避難情報の緊急メールが受信できます。
（※携帯電話の場合、データ通信料が発生）

2 テレビ・ラジオ

● ラジオ（やしの実FM84.3MHz）
● テレビ
避難情報や避難所開設情報がデータ放送から確認できます。

データ放送での確認方法
（NHKの場合）
❶テレビのリモコンの「ｄボタン」を押す。
❷「防災・生活情報」を押す。
❸避難情報等を確認する。

3 同報系防災行政無線

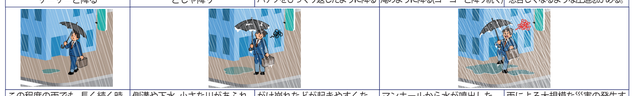
市内63カ所にある防災行政無線より、災害・気象情報をおしらせします。

4 広報車

市の広報車や消防車両によるマイク放送をします。

雨の強さと降り方（1時間雨量）

やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
10～20mm未満	20～30mm未満	30～50mm未満	50～80mm未満	80mm以上
ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感がある。



この程度の雨でも、長く続く時は注意が必要です。

側溝や下水、小さな川があふれ、小規模ながけ崩れが始まります。

がけ崩れなどが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要です。都市部では下水管から雨水があふれます。

マンホールから水が噴出したり、土石流が起こりやすいなど、多くの災害が発生します。

雨による大規模な災害の発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要です。

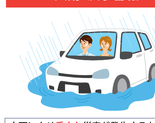
出典：気象庁ホームページ　https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/amekaze/amekaze_index.html

避難のタイミングを知ろう

大雨・洪水に関する注意報・警報

大雨・洪水注意報 ▶ 大雨・洪水警報 ▶ 大雨特別警報

大雨により災害が発生するおそれがあるときに発表されます。



大雨により重大な災害が発生するおそれがあるときに発表されます。

台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合に発表されます。

警戒レベルの確認

災害発生のおそれが高まった場合、市や気象庁などから様々な情報が発表されます。これらの情報に注意し、段階に合わせた適切な行動を取りましょう。

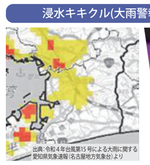
警戒レベル	市民のみなさんがとるべき行動	警戒レベル相当情報	避難情報等
警戒レベル5（命の危険 直ちに安全確保！）	既に災害が発生又は切迫している状況です。命を守るために、直ちに安全を確保して下さい。	氾濫発生情報（気象庁が発表） 大雨特別警報（気象庁が発表）	緊急安全確保（豊橋市が発令）※
〈警戒レベル4までに必ず避難！〉			
警戒レベル4（危険な場所から全員避難）	速やかに危険な場所から避難先へ避難しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	氾濫危険情報（気象庁が発表）	避難指示（豊橋市が発令）
警戒レベル3（危険な場所から高齢者等は避難）	避難に時間を要する人（高齢者、障がい者、乳幼児を連れている方等）とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	氾濫警戒情報（気象庁が発表） 大雨・洪水警報など（気象庁が発表）	高齢者等避難（豊橋市が発令）
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	大雨・洪水注意報など（気象庁が発表）	必ずしも、この順番で発表されるとは限らないのでご注意ください。
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報（気象庁が発表）	

※可能な範囲で発令されるものであり、必ずしも発令されるものではないことに注意して下さい。

●キキクル（危険度分布）

「キキクル」は大雨や洪水による災害の危機が、どこで、どのレベルで迫っているかを、地図上で視覚的に知ることができる情報で、気象庁のホームページで公開されています。

浸水キキクル(大雨警報(浸水害)の危険度分布)



高 危険度 低
▶ 災害切迫【警戒レベル5相当】
▶ 危険
▶ 警戒
▶ 注意
▷ 今後の情報等に留意

出典：気象庁ホームページ
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/kikendobunpu/index.html

洪水キキクル(洪水警報の危険度分布)

高 危険度 低
▶ 災害切迫【警戒レベル5相当】
▶ 危険【警戒レベル4相当】
▶ 警戒【警戒レベル3相当】
▶ 注意【警戒レベル2相当】
▷ 今後の情報等に留意

出典：気象庁ホームページ
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/kikendobunpu/index.html

避難行動判定フロー

台風や大雨のような風水害はあらかじめ接近を予測できる水害です。避難行動判定フローに従い、該当する選択肢にチェックをつけて、自宅における災害リスクととるべき行動を確認しましょう。
（このフローは、内閣府が公表する避難行動判定フローに沿って作成しています。）

裏面のハザードマップで自分の家のある場所を確認し、印をつけてみましょう。

↓

自宅付近は色が塗られていますか？
- いいえ → 色が塗られていなくても、周りと比べて低い土地や崖のそばなどでお住まいの方は、豊橋市からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。
- はい ↓

災害の危険があるので、原則として、自宅の外に避難が必要です。
- 例外 → 屋内待機または垂直避難
  浸水の危険があっても
  ① 家屋倒壊等氾濫想定区域外である。
  ② 浸水する深さよりも高いところにいる。
  ③ 浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分にある場合は自宅に留まり安全確保することも可能です。

↓ 立退き避難※

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？
高齢者　要支援者　乳幼児連れ　妊娠中

- はい ↓
- いいえ ↓

安全な場所に住んでいて、頼ることのできる親戚や知人はいますか？
- はい ↓
- いいえ ↓

安全な場所に住んでいて、頼ることのできる親戚や知人はいますか？
- はい ↓
- いいえ ↓

警戒レベル3 高齢者等避難	警戒レベル3 高齢者等避難	警戒レベル4 避難指示	警戒レベル4 避難指示
が発令されたら、安全な親戚・知人宅などに避難しましょう。（日頃から相談しておきましょう。）	が発令されたら、市が開設した避難所に避難しましょう。	が発令されたら、安全な親戚・知人宅などに避難しましょう。（日頃から相談しておきましょう。）	が発令されたら、市が開設した避難所に避難しましょう。

※家屋倒壊等氾濫想定区域や最上階が浸水するおそれがある場合は、早期に立退き避難が必要であり、状況に応じて市の発令を待つことなく避難して下さい。

避難で注意することを知ろう

立退き避難の心得

いざというときのために、日ごろから避難に必要なものを整理し、家族で避難の手順について話し合っておきましょう。また、災害の危険性が想定された場合には、情報を入手して、早めの避難を心がけましょう。

● すばやく避難をしましょう
避難情報などが発表されていなくても、雨の状況などから判断し、自主的に安全な場所に避難をしましょう。避難の際はブレーカーを落とし、火の元を確認しましょう。

● 車での避難は控えましょう
水深30cmを超えると、多くの車はエンジンが停止するおそれがあるため、車での避難は控えましょう。

● 水がひざ上まで来たら歩きにくくなります
歩くことのできる水深は50cm程度が限界です。道路が冠水する前に避難をするようにしましょう。

● 子どもやお年寄りと安全に避難しましょう
小さな子どもやお年寄りの避難に協力しましょう。子どもについてはロープで体を大人とつなぐことも有効です。

● 集団で避難をしましょう
単独での行動は避け、近所の人たちと声を掛け合い集団で安全な場所に避難しましょう。

● 外出中の家族には連絡メモを残しましょう
避難時に外出中の家族には、「○○に避難する」といったようなメモを残すようにしましょう。

● 足元に注意しましょう
長い棒や傘を杖代わりにして、側溝などに気を付けましょう。なるべく道路の真ん中を歩きましょう。

● 危険なところは避けましょう
狭い道、がけや川・水路のそばは避けましょう。電線が垂れ下がっているところも危険です。

避難するときは動きやすい服装を心がけよう

危険箇所を事前に確認しよう

堤防や盛土の近く
堤防の近くや道路などの盛土に囲まれた地域は、排水能力が低く水が溜まりやすくなっています。
自宅や学校、勤務先など、事前に確認しておきましょう。

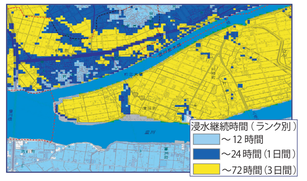
土砂災害の恐れがある場所
大雨が降ると地盤が緩み、がけ崩れや土石流等の土砂災害が発生する恐れがあります。
大雨時には近づかないようにするとともに、自宅が土砂災害警戒区域等の付近にある場合は、早めの避難を心がけましょう。

地下空間
地下空間は、浸水が始まると水圧の影響でドアが開けられなくなったり、地上から流れてくる雨水が原因で、脱出が困難になります。
早めに地上へ避難しましょう。

地下道（アンダーパス）
大雨・洪水などにより、地下道（アンダーパス）は真っ先に浸水します。地域の地下道の場所を把握し、もしものときに備えて迂回路を頭にいれておきましょう。

浸水が継続する期間を知る

浸水継続時間を表示した図では、洪水により浸水深0.5m 以上が継続する時間を表しています。
浸水継続時間が長くなるおそれのある地域にお住まいの方は、６ページの避難行動判定フローに従って、事前に避難を行うようにしましょう。



● どこで確認できるの？
浸水継続時間を表示した図については、下記の２次元コードもしくは URL よりご確認ください。

豊川・豊川放水路
https://www.cbr.mlit.go.jp/toyohashi/bohsai/shinsui/toyokawa/toyo-kei_ks_time.pdf

豊川下流支川
https://www.pref.aichi.jp/uploaded/attachment/402543.pdf

● 浸水継続時間が長い地域で立退き避難を行わなかったときは？
浸水が長期にわたると想定される地域で、立退き避難をせずに自宅の２階等に待避した場合は、次のような問題点が起こりえます。浸水継続時間が長い区域の住民の方は、適切な避難判断をしましょう。

外部との連携が遮断
- 浸水が深い場合、家から外に出られない
- 水や食糧などの備蓄がなくなる
- 衛生環境が悪化する
- 病人が出た場合に対応が難しい
- 定期的な診療が受けられない　など

電気、ガス、水道が止まる
- 生活環境が悪化する
- 停電などにより、情報を得られなくなる　など

孤立した場合
- 体調を崩した場合の対応が困難である
- 情報を得られず不安になる　など